

楽しい酒だった。かれこれ3時間余り。お互いの青春話で盛り上がり、店自慢の地酒を堪能した。相手は愛知県春日井市にある中部大学で教授を務める林良嗣君。三重県立四日市高校、通称「四高」の同期だ。柔道部で鳴らす一方、教師のものまねで笑いを取る芸達者だった。

実は、私たち2人が近しくなったのは、この1、2年のこと。高校時代はもちろん卒業後の同期会でもあまり言葉を交わしたことがなかったが、林君の講演を聞いたのが縁で連絡を取り合うようになり、昨年暮れに四日市で初めてゆっくり杯を傾けた。

理系の彼は環境との共生を目指す都市工学の権威で、地球上の問題解決策を追求する国際的な民間組織「ローマクラブ」のフルメンバーに選ばれている。そうそうたる海外のメンバーに伍する活躍は頼もしい限り。三井住友銀行から三重銀行へと金融一筋を歩む私とは違う視点の考え方に、いつも大きな刺激を受けている。

2019年は四高を卒業して丸50年。疎遠になる同期がいる一方で「昔いたな」程度の存在だった林君と交遊を重ねる。すごく新鮮だ。まちづくりの道を決める四日市の総合計画策定委員会のメンバー同士でもある。今度はいつ飲もうか。古里が取り持つ関係を大切にしたい。(たねはし・じゅんじ 四日市商工会議所会頭)